タウンニュース
2015年3月19日号

サーチウォークが15周年

頭と体を使って楽しむ

栄区発祥の競技「サーチウォーク」が、誕生から15周年を迎えた。3月14日には本郷地区センターを中心に15周年記念大会を開催し、区内外から50人以上が参加。大人も子どもも頭と体を使って競技を楽しんだ。

電柱を見て数字を記入する参加者ら

サーチウォークとは、地図に示された情報をもとに目標の電柱を探し出して得点を競う競技。野山の中で地図上に表示されたチェックポイントをたどってゴールまでのタイムを競うオリエンテーリングを、もっと身近な場所で気軽に楽しもうと、区内鍛冶ケ谷在住の金江宏さん（73）によって15年ほど前に考案された。

2001年には栄区サーチウォーククラブが設立され、栄区を中心に研修会や大会などを実施。08年には日本サーチウォーク協会（金江宏会長）が設立され、同協会は昨年NPO法人格を取得。横浜市内を中心に少しずつ広まっている。

競技には、独自に作られた地図を使用。この地図には電柱の場所を示すNTTの電柱番号が書かれており、参加者はこの番号から目標の電柱を探し出す。街中を歩き回るウォーキングの要素に加え、目標の電柱がどこにあるのか予測するため頭の運動にもつながり、子どもから高齢者まで楽しめる競技となっている。

▶NTTの札（上の白い札）の表示を手がかりに目標の電柱を探し、東京電力の札（下の札）に書かれた数字を記入する。電柱ごとに得点が決められており、見つけた電柱の合計得点を競って楽しむ

記念大会に約50人

14日の記念大会には、小学生から大人まで50人以上が参加。この日は初心者が多いこともあり、サーチウォークの入門編として考案された「サーチOL」への参加が大半を占めた。

サーチOLの場合は、地図上に目標の電柱の番号だけでなく場所も示されているため、気軽にサーチウォークの感覚を楽しめる。参加者らは、本郷地区センターをスタートして、地図を片手に区内を歩き回って電柱を探した。指定された目標の電柱を見つけて番号を記入して、最後には同センターへ戻ってゴール。終了後には表彰式が行われ、会場は盛り上がっていた。

今回初めてサーチOLに参加した女子高生は「疲れたけど、普段は電柱を見る機会もないので面白かった」とコメント。大会を主催した栄区サーチウォーククラブの立花正則会長（63）＝人物風土記で紹介＝は、「多くの人が集まってくれて嬉しかった」と話した。

次回は4月26日(日)に藤沢市の辻堂海浜公園周辺で開催予定。問い合わせは金江さん☎090・3579・0140。

見つける喜び広めたい

日本サーチウォーク協会
金江宏会長

電柱の場所を記録する仕事を請け負ったことをきっかけに、電柱番号の仕組みを競技にできると考えた金江さん。仕事で電柱を探す中で、「見つかった時には喜びや嬉しさを感じた」という。もともとオリエンテーリングやウオーキングに取り組んでいたこともあって、サーチウォークを考案。「落とした財布を探して見つけた時の喜びが続けて起こる感じ。ゆくゆくは全国へ広げていきたい」

栄区発祥の競技を各地へ

人物風土記

題字は
林文子 横浜市長

●栄区サーチウォーククラブの会長を務める

立花 正則さん

犬山町在住　63歳

○…栄区から誕生した競技「サーチウォーク」。街中を歩いて電柱を探す中には体を動かす気持ち良さに加え、目標の電柱を見つけた際の達成感などウォーキングにはない楽しさも兼ね備える。現在はNPO法人日本サーチウォーク協会で運営に携わり、同協会の支部にあたる栄区サーチウォーククラブで会長も務める。

○…栄区に来たのは20年以上前のこと。円海山や鎌倉も近く、歩くには良い環境があることからウォーキングに取り組んでいた。しかし次第に普通のウォーキングではつまらなくなっていき、そんな時にサーチウォークの研修会が行われることを知って参加。「予測して、その通りだった達成感は魅力」というように、地図や番号をもとに電柱を探し出すというサーチウォークの持つ新たな要素に惹かれていった。現在ではスタッフとして競技に使う地図も作成。事前に現地を下見する必要もあり、準備にはかなりの時間や手間がかかり、苦労も多い。しかし、「オリジナルの地図や難しい問題を作ることも楽しみの一つ」と笑顔。参加者側だけでなく運営側としても、競技を楽しんでいる。

○…「会社の中だけで関わっていくもので良いのか」という考えから、地域でのつながりを求めて地域活動に参加。サーチウォークもその一つだが、町内会でのイベントの手伝いなどにも関わってきた。今年からは新たに、さかえ区民活動センター「ぷらっと栄」のサポーターにも登録して活躍の場を広げている。

○…現在同協会は、戸塚区や港南区、磯子区などにも支部も持ち、鎌倉でも大会を行うなど少しずつ規模を拡大。「より楽しめる競技にしていければ」と話し、参加者からの意見収集をしたり、地図にエリアのみどころを盛り込むなど、競技の魅力を高めるために試行錯誤を続ける。「（楽しさは）やってみないと分からない。ぜひ体感してほしい」。栄区発祥の競技を、各地に広めていく。